



良質米生産のためには、茎数の過剰によるもみ数過多を防ぐ必要があります。そのためには、茎数が過剰になる前に中干しを実施し、茎数を抑制することが重要です。中干し開始までに必要な目標茎数は、「なつほのか」で350本／平方メートル、「にこまる」で300本／平方メートルです。適期に中干しを開始するには圃場（ほじょう）で茎数を確認する必要がありますが、担い手が減少する中で、効率的な把握方法が求められて

「なつほのか」は0.38
水 稲 の 中 干 し
開始時期の発育指数

月・日	なつほのか		にこまる	
	発育指数		発育指数	
6月15日	0	移植日	0	移植日
6月16日	0.01		0.01	
：	：		：	
7月7日	0.30		0.21	中干し開始日
7月8日	0.31		0.22	
7月9日	0.33		0.23	
7月10日	0.35		0.24	
7月11日	0.36		0.25	
7月12日	0.38	中干し開始日	0.26	

表 年平均気温で予測した
中干し開始時期

注）予測地点は諫早市貝津町の
県農林技術開発センター

います。そこで、両品種の出穂期の予測式により算出した1日当たりの発育速度を積算した値である発育指数と、1平方メートルあたり茎数

との関係を調べ、最適な中干し開始時の発育指数を検討しました。

その結果、目標茎数に達する発育指数は「なつほのか」で0.38、「にこまる」で0.22になることが分かりました。この発育指数に達する日は、県で開発した水稻生育シミュレーション2010により移植日と日平均気温の平年値より推定できます。農林技術開発センター（諫早市貝津町）で6月15日に移植した場合の中干し開始時期は、「なつほのか」で7月12日、「にこまる」で7月8日と推定されました。今回開発した技術により、効率的に中干し開始時期を把握することが可能となります。

（長崎県農林技術開発センター―農産園芸研究部門作物研究室室長 古賀潤弥）